

めぐみ

鎮西敬愛学園通信

No. 63 2015 年 夏号

敬愛幼稚園／敬愛中学校／敬愛高等学校

〒 800-0035 北九州市門司区別院 6 番 1 号

中・高 TEL 093-381-3537 FAX 093-391-8049

幼稚園 TEL 093-371-2267 FAX 093-391-9385

敬愛小学校

〒 800-0057 北九州市門司区大里新町 1 1 番 7 号

TEL 093-381-0611 FAX 093-381-0601



第 55 回吹奏楽祭(6 月 7 日 体育大会後)

© 砂津フォトサービス

いっぽ

何事であれ、
最終的には自分で考える覚悟がないと、
情報の山に埋もれるだけである。

羽生 善治

情報化社会という言葉が使われるようになって久しい
昨今、その様相はますます色濃くなり、今日では、高度
情報化社会とまで言われるようになりました。それほど
に、私たちの周りには情報が溢れ、その情報に対する依
存度が高いものになっているというでしょう。確かに、
ここ数年の間に、情報技術は飛躍的な進歩を遂げ、
今この瞬間にも、世界中のあらゆる情報を容易に手に入
れることができるようになりました。

こうした社会に生きる私たちは、さまざまな情報とど
のように付き合っていくか、改めて考えなければならな
いと思います。日々更新されていく情報、その中で、本
当に必要な、そして正しいものを見極める確かな目を持
たなければ、情報に振り回され、大切なものを見失い、
道を誤ってしまうことにもなりかねません。だから、私
たちは学び続けるのでしょうか。

生きるということは、選択の連続です。その選択に、
私の持っている情報が極めて大きな影響を与えることは
紛れもない事実です。その選択が私の人生を決めるもの
であるという自覚と覚悟の上に、目の前にある一つひと
つの事柄に対して主体的に関わっていきたいと思いま
す。それが、ただ一度きりのかけがえのない人生を大切
にするということにつながるのではないのでしょうか。

生きとし生けるものが共にいのち輝かせて生きること
ができるよう、そのために何ができるかということをも、
自らの生き方を選び取る基準にしていきたいと思いま
す。

6月7日（日）体育大会が行われました。

今年も生徒会、実行委員、応援係を中心に体育大会当日まで、早朝や放課後、昼休みなど一生懸命準備や競技練習をしてきました。徒競走、玉入れ、リレー、ロープジャンプ、騎馬戦など定番の競技に加え、今年は「〇人〇脚」をリレー方式にしたり、「敬愛積むツム」という名前で、絵の描かれた段ボール箱を協力して積み上げるスピードと、絵の芸術性を競うオリジナルの種目も取り入れました。開会式後、ラジオ体操から競技はスタートし、どの競技も白熱した戦いが繰り広げられ、大いに盛り上がりました。中でも毎年注目される色別応援バフォーマンス合戦では、各色とも練習の成果を十分に発揮し、一致団結した迫力のあるパフォーマンスに観客も見入っていました。勝つことだけに捉われず、学年を越え精一杯応援したり、競技を思う存分楽しんでる姿は輝いていました。閉会式では、吹奏楽部の伴奏に合わせ全校生徒で校歌斉唱

をし、生徒の表情や歌声、歌いながら涙を流す姿から達成感が感じられ、とても感動的でした。準備や練習の中で苦勞もあつたよう

ですが、それを乗り越え仲間と協力して創り上げた体育大会は、生徒をまた一つ成長させ、最高の思い出になったようです。天候にも恵まれ、大きな怪我もなく今年も無事に体育大会を終えることができました。お越し下さった保護者の皆さま、地域の皆さま、最後まで温かいご声援ありがとうございました。

今年の体育大会。私は周囲の人達の大切さを改めて実感しました。応援団やクリエーター、実行委員、みんなそれぞれ違う役割を担い、全力を注ぎ、協力してくれました。活躍する場は違っても、みんなの気持ちは「体育大会をより良いものにしたい」その一心です。たった一日のために費やした時間は、一人ひとりの心に刻まれた一生の宝物になったと思います。最高の一日でした。来年もより素晴らしい一日になることを願っています。

旧生徒会長 古元日奈子



中高部活紹介（運動部編）

学生生活での充実した時間の一つに部活動があります。日頃接することのない他学年との共同活動。各部活とも一つの目標に向かって活動することで、チームワークを高め、各々が成長し豊かな心を育みます。2号に渡って部活体験談を紹介します。

バスケットボール部

私は、入学してすぐにバスケット部に入学しました。バスケットは初心者でしたが、先輩方が基礎から一つ一つ教えて下さいました。練習内容はハードですが、部員のみならず励まし合いながら練習に励みました。引退試合では、三年間頑張った思い出や勝ちたいという思いなどが込みあげて涙を流しながら試合に臨みました。この三年間部活を頑張ったという経験が今の私の自信となっています。この自信を胸に次の試練である受験にも打ち勝ちたいと思います。

姜侑利（山の田中）



卓球部

僕が卓球部に入ろうと思ったのは、部活動紹介で卓球に興味を持ったからです。僕は高校生になって初めて卓球をするので、上手になれるか心配でした。でも、先輩や先生が優しく丁寧に教えてくれ、卓球をするためにいろいろとサポートをしてくれた両親のおかげで大会に出られるほど上達しました。卓球部の練習では、部員の技を見て自分の技術を高めることができ、だんだんと部活に行くのが楽しくなりました。最後の大会では、全力を出して戦うことができたので悔いはありません。僕は卓球部に入って良かったと思いました。

藤村守（木屋川中）



バドミントン部

私はこの3年間で、ものすごく貴重な経験をしました。入部してから1年間は、ただ言われた事をやり続け、3年生が引退して私がキャプテンになったとき、思ったようにチームを引っ張っていくことができませんでした。最後の団体戦では十分な試合がでず、苦しい思い出となりましたが、最後まで部活を続けてくれたのも、良い仲間や先輩、後輩に恵まれたからだと思っています。自分を支えてくださった先生方や部員みんな、本当にありがとうございました。

川上晃（敬愛中）

合気道部

私は、中学1年のときに入部し、6年間この部活で頑張ってきました。この部活を通して、礼儀作法や護身術など様々なことを学ぶことができました。入部したのときは、先輩方についていくので精一杯でしたが、それから6年間部活を続け、先輩たちに自分が教える立場となつていく今、憧れていた先輩方に近づけたような気がします。また、合気道部は和気藹々としており、とても落ちつける場所でした。私は、顧問の先生と部員たちに出会えて本当に良かったと思います。

諸岡沙紀（敬愛中）



硬式テニス部

私達女子テニス部は、部員二人からのスタートでした。団体戦に出られず悔しい思いをしました。翌年、先輩が入り念願だった県大会にも出場することができました。そして、2年の秋の新人戦で男女共に県大会に出場できたことが一番の思い出です。私は部活動を通して、全員で一つの目標に向かって頑張ることの大切さ、勝利したときの喜びを知ることができました。今まで支えて下さった先生、部員の皆に感謝しています。本当にありがとうございました。

西野入杏美（福教大付属小倉中）



ソフトボール部

僕が、初めてソフトボールの練習に参加させてもらったとき、ソフトボールの先輩方から優しくしてもらったことを覚えていてます。入学したばかりで、高校生活に慣れていなくて緊張していました。でも、先輩方が気軽に接してくれたので部活がとても楽しかったです。部活の練習に参加するのが毎日の楽しみでした。ソフトボール部は、自分にとって良い思い出です。先生、後輩、同期の人達に支えられて頑張れました。本当に感謝しています。ありがとうございました。

坂本海来（東谷中）

サッカー部

僕は、最初部活に入るか悩んでいてなんとなくの気持ちで今までやってきたサッカー部に入りました。そのころは、人数も少なく楽しみも少なかったのですが、途中から自主的に部活をしていく楽しさをはじめ、それからはとても楽しくなりました。このサッカー部を通して、技術面だけでなく自主的に行動するといった精神面でも成長することができました。また、勉強との両立がとても大変でしたが、楽しかったので最後までやりとげられました。

小田哲也（志徳中）

6年生 修学旅行

6年生は、6月21～23日に修学旅行がありました。

1日目は奈良を訪ね。東大寺では、大仏の大きさに驚きながらも、自然に合掌する児童の姿に感心しました。薬師寺では、お寺の方の法話に真剣に耳を傾けていました。



2日目は京都の色々な文化財を訪ね。西本願寺では、参拝式を行って頂き、ご法話を通して、自分自身を振り返ることができました。今年は京都大学にて、京都大学院生である敬愛高校の先輩から大学生活や小学生時代に大事にしておくことなどを教えて頂き、有意義な時間を持つことができました。

3日目は金閣寺・三十三間堂などを訪問。社会科の授業で学習した内容を振り返ることができました。

あつという間の3日間でしたが、日本の伝統文化にたくさん触れ、公共のマナーや集団行動のときに心がけることなども見直すことができました。児童たちは、この修学旅行で多くのことを学び、残りの小学校生活をより充実させて過ごしてくれることと思います。

特集

敬愛の教育 2年生 古典暗唱

2年生は毎月1作品のペースで古典文学を学習し、暗唱する取り組みをしています。古典に触れることで、昔と今の日本語の類似点や相違点に気づいたり、昔の文化や昔から変わらない価値観を知り、国語への興味・関心を高めたり、古典に親しむ態度を身につけたりすることを目的としています。

6月に初めて、『竹取物語』を学習しました。最初にかくや姫の絵本で読み聞かせを行い、そのあとに『竹取物語』の冒頭を紹介しました。子どもたちは、今から千年も昔からかくや姫の話があることに驚いており、「現代の言葉に直したい。」という意見が出ました。そこで、みんなで現代語訳をしていきました。内容を知っていた話なので、子どもたちは訳を予想しながら楽しく学習できました。現代語に訳し終わったあと、暗唱することになりました。



先日、暗唱の発表会をしました。発表の様子は、各自のiPadに録画しました。お家の方にも見ただけだと、どの子どもも気持ちを込めて発表することができ、素晴らしい発表会になりました。



オープンスクール 7/4



1年生宿泊研修 7/8.9



運動会 5/24

「絆くみんなで協力してゴールをめざそう」のスローガンのもとに、一人ひとりが全力で走り、声をかけ合い、心を一つにして堂々と表現することができました。また、演技だけでなく応援のときの態度や係の仕事のきびきびした姿など、どの場面を見ても子どもたちがみんなが自分の持つ力を出し切っている姿が伝わっていました。運動会という大きな行事を通して、子どもたちはひとまわり成長したように感じました。

1日目、山口県の秋吉台サファリランドを見学した後、角島をバスで一周し、宿泊先の西長門リゾートホテルへ向かいました。夕食では、テーブルマナーを学び、実践することで、友だちとよりおいしく食事を味わうことができていました。2日目は、角島自然館とやまぐち県酪乳業へ見学に行きました。研修での様々な活動を通して、集団の一員としての自覚を持ち、友だちとの関係を深めることができた2日間になりました。

たくさんの方々にご参加いただき、オープンスクールを開催しました。園児の皆さんには、図工と理科の体験教室に挑戦してもらいました。3・5年生が上手にリードして、みんなとつても楽しそうに活動していました。保護者の皆様には、学校説明会を開催しました。最後に、4・6年生の英語と合唱発表をご覧いただきました。保護者の方へのアンケートでは、「合唱が感動した」「英語が素晴らしい」とたくさんコメントを寄せて頂きました。

幼稚園通信

高校生との交流会

毎年敬愛高等学校3年生の生徒さんが「総合仏教」の授業の一貫として、幼稚園実習を年に4回程度行っています。子どもたちと触れ合うことで、命の尊さや、思いやりの心を育むことが目的です。子どもたちにとっては、普段なかなか触れ合うことのない年齢の生徒と触れ合うことで、たくさんの刺激を受けています。今年度は年長児・年中児が交流会を行っています。



高校生交流会では、手遊びを一緒にしたり、粘土や折り紙で遊んだり様々な活動を行います。回を重ねることで信頼関係が築かれ、保護者の方からの連絡帳でも「お兄さんが優しくかったと言っていました」「お家で交流会のお話をたくさんしてくれます。いい経験をさせて頂いています」という声も頂きました。

また今年度は年長児が敬愛小学校の3年生・5年生の児童の皆さんとも交流会をしました。子どもたちと目を合わせて、ゆっくりと教えて下さる児童の皆さんを、憧れの眼差しで見ている年長児。来年度小学校へ進学する期待も膨らんだようでした。



年中組 お泊り保育



7月17・18日に年中児のお泊り保育を開催しました。毎年この時期に年中児が幼稚園に泊り、2日間過ごします。カレー作りやスイカ割り、花火、キャンドルサービスと夏のお泊りならではの内容もあり、とても楽しんでいました。

自然体験の一つとして、ネイチャージームを行い、戸外での活動も興味津々でした。ネイチャージームとは自然環境の中で活動し自然を耳や目、鼻で感じる遊びのことです。自然の中に人工物（造花・虫の玩具）を隠して、自然物と人工物の違いを見つけるカモフラージュやにおい、色、形、さわった感じ、音などさまざまな方法で身近にある自然を探していく、フィールドビンゴに挑戦しました。自然や環境への理解が深まり、自然の美しさや面白さを発見できました。

初めて保護者の方と離れて泊まった子どもたちもいましたが、2日間のお泊り保育を通して一回り成長したようです。



夏祭り

7月11日に夏祭りを開催しました。生憎の雨となり、幼稚園内で行いました。浴衣や甚平で盆踊りを踊ったり、父母の会主催で出店して頂いた夜店を楽しんだり、とても喜んでいました。

夏祭りならではのヨーヨー釣りやスパーボールすくいを楽しみ、かき氷を食べて大満足だったようです。

ご来園下さった皆さんありがとうございました。



敬愛幼稚園からのお知らせ

第38回 運動会

9月20日(日) 9時～14時

(雨天時 9月27日(日))

鎮西敬愛学園のグラウンドで行います。

未就園(11時頃)・卒園児(11時30分頃)のプログラムも用意しています。



入園説明会

10月3日(土) 10時30分～11時30分

作品展・バザー

10月25日(日)10時～14時

子どもたちの作品展示、保護者の方の手作りの品、到来品、食料品販売を行っています。

すべて事前予約等は必要ありません。皆様のご来園をお待ちしています。

お問い合わせ：敬愛幼稚園(093-371-2267)まで

法話

浄土真宗本願寺派

西福寺 住職

山本 徹 師

「ご恩報謝のなんまんだぶつ」

經』に「從是西方過十萬億那由其他方有世界名曰極樂」（是より西方に十萬億仏土を過ぎて世界あり、名づけて極樂といふ）と説かれているのを指して一休禪師が

蓮如上人の生きられた室町時代の僧として、親交が深かったと伝えられているのが「とんちの一休さん」こと「一休禪師（1397-1481）」であります。禪師は臨済宗大徳寺派の禪僧であります。浄土教への理解も深く、親鸞聖人二百回御遠忌の折には本願寺に参拝された様子で、その折に聖人の黒漆のお木像を見て詠んだとされる歌

襟巻の あたたかさうな黒坊主

こやつが法は 天下一なり

が、よく知られるところであります。当時、聖人のことを「黒坊主・こやつ」と呼べたのは一休禪師が他宗派だったからこそのでしょうが、それにも係わらず「教えは天下一だ」と褒め讃えておられます。ですから宗派を超えて、同時代を生きた蓮如上人と一休禪師が交わされた歌や逸話がいくつも残されています。その中に、浄土三部經の一つである『仏説阿弥陀

極樂は 十萬億土と説くならば
足腰立たぬ婆は 行けまじ

（極樂がそれほど遠いところだと言うなら足腰も立たない様な年寄りにとはとても行けないではないか）

と詠んだのに対し、蓮如上人は

極樂は 十萬億土と説くなれど

近道すれば 南無のひと声

（極樂は遠いと言われるけれども、

ご恩報謝の南無阿弥陀仏の念仏一声

で往ける近道があるのだ）

と頂かれました。さて、称名報恩と

は、信心が正因であるのに対して、

称名は正因ではなくして、報恩行（ご

恩報謝の念仏）であるということ

あらわします。親様（阿弥陀さま）

は願ひ（ご本願）の中に信心と称名

とお誓い下さいました。これは親

さまのお名号を信じさせ、称えさせ

て、浄土に往生させようというお誓

いであります。しかしながら、お名

号を信受したところで往生が決定す

るのか、それとも口に称えた時、はじめて往生が決定するのかわかといえ、信受したところで往生は決定するのであります。これを信心正因といひます。ですからその後の称名は、往生決定の上の行業であつて、お救い下さる親様のご恩に感謝の思いから称えるものであります。これを称名報恩（他力の念仏）といひます。

しかしながら称えるとは云えども、衆生自らが称える念仏の行によつて、往生しようと願ひ求めるのであ

れば、それは自力の念仏であつて、ご恩報謝の念仏ではありません。ならば、自力を捨て去ることが大事と、今度は自力を捨て去ることを条件にしてしまいがちですが、それもまた間違ひなのです。自力を捨て去ることが条件ではなく（捨て去ることは不可能）、自力を捨て去ることは出来ないが、自分の称える念仏が救

いの条件とはならないと、自力無功を知らされ、その上でこの口より出てくださる念仏が、他力の念仏なのであります。この度は、親様の万事ととのつたお救いのお相を頂戴致し

た次第であります。 称名

す

た

た

た

た

た

た

た

中学高校部活報告

吹奏楽部

7月25日（土）北九州吹奏楽コンクールに出場し、昨年に引き続き銀賞を受賞しました。部になって6年目（同好会からは8年目）コンクールは6回目の挑戦です。

部の歴史6年間を全て知っている生徒が今年引退し卒業します。中学1年で入部した4人。高校1年で入部した5人。9人の高校3年生が最後のコンクールにかける思いは強く、練習する姿は今までで一番集中して見え、後輩をうまく引っ張る姿はまさしくリーダーとなっていました。

『真摯であれ！謙虚であれ！』

部活は教育活動の一環です。金賞を取るより大切なことがある。挨拶ができる。感謝することができると等々、ごく当たり前のことですが難しいこれらのことができるようになると自ずと演奏も上手くなっていく。『音楽が人の心を変える』そう信じて6年間過ごし、少しずつですが着実に成長してきました。これからますます発展していけるよう頑張っていきます。ご指導、ご鞭撻をよろしく願ひします。

放送部

7月22日（水）北九州市中学校放送コンテストがウエルとばた大ホールで行われ、中学3年2組の宮島優花さんが、アナウンスの部で見事3位に入賞しました。その後宮島さんは、二日後の24日（金）久留米市の石橋文化ホールで行われた福岡県放送コンテストに出場しました。

残念ながら次の大会へ進むことはできませんでしたが、原稿の作成や練習を全て一人で取り組んできた過程は、良い学びになったことと思います。今回の学んだことを来年に活かしていくことを期待しています。



© 砂津フォトサービス

卒業生からのメッセージ

平成12年度卒業 米永一理さん

● 医師・歯科医師として働いています

敬愛の皆様、こんにちは。私は平成12年に鎮西敬愛高校を卒業し、鹿児島大学歯学部に入學後、歯科医師となり東京大学医学部附属病院での研修医を経て、東京大学大学院医学博士課程に入學しました。その後東海大学医学部に編入學し、医師となり現在東京大学医学部附属病院で助教（医師・歯科医師）として勤務しております。

敬愛の皆様、こんにちは。私は平成12年に鎮西敬愛高校を卒業し、鹿児島大学歯学部に入學後、歯科医師となり東京大学医学部附属病院での研修医を経て、東京大学大学院医学博士課程に入學しました。その後東海大学医学部に編入學し、医師となり現在東京大学医学部附属病院で助教（医師・歯科医師）として勤務しております。



た。その際の講義内容があまりにもすご過ぎて、感動して涙を流している人がいたことを今でも鮮明に覚えています。東京大学で仕事をするとは、それだけ求められる仕事の量・質ともに高く、猛烈な勉強を日々しないといけないかもしれません。今更ですが中学・高校時代もずっと勉強しておけば良かったと反省しております。

● 東京大学の研究

さて、医学部・歯学部に入學し、医師・歯科医師になる人達には、様々なタイプの方がいますが、共通していることは、少なくとも勉強をすることができる人達です。この勉強の仕方、人それぞれですが、ただ漫然と勉強をするだけでは、なかなか医師・歯科医師にはなれないと実感しています。高いレベルで勉強するためには、人間力を身につけ、考

● 敬愛の精神の重要性

え方や精神状態を安定させることが重要であると思います。

東京大学では、世界トップクラスの知財、技術、研究を実感することができ、世界を代表する先生方に囲まれています。例えば、東京大学大学院時代にはまだノーベル賞を受賞する前で、世間で有名になる前の、山中伸弥教授（当時、東京大学の教授でもありました）の講義を受けていまし



え方や精神状態を安定させることが重要であると思います。

え方や精神状態を安定させることが重要であると思います。



中学高校部活紹介（運動部 Part2）

柔道部

私は、高1からこの敬愛柔道部に入り、様々なことを学ぶことができました。まず、親のありがたみです。私の何もかもをこなしてくれていた両親は、本当に偉大だと感じる事ができました。次に、仲間との出会いです。日々共に練習し、試合に出場する中で、仲間の大切さと存在の大きさに気付くことができました。私がこうして成長できたのは、先生や先輩、両親がいてくれたからだと思います。感謝の気持ちを忘れず、この経験を活かしていきたいです。

梅津 志悠（吉富中）



バレーボール部

入部した頃の頃、精神的にも体力的にもきつかったけど早くチームに貢献できるようにになりたい、もっと上手になりたい、と思いつつ先輩の背中を追いかけていました。それからあつという間に引退が近づいてきました。先生や先輩から学んだ「努力・謙虚・感謝」ということを忘れず、今度は後輩にしっかりと教えていきながら、引退までの部活動が悔いの残らないように全力で頑張っていきたいと思っています。

向江 雅（松ヶ江中）



平成27年度 金鷲旗 敬愛高校女子柔道部 優勝!!



平成27年7月21日～23日に行われた、第89回金鷲旗高校柔道大会において、敬愛高校女子柔道部が2年ぶり4回目の優勝に輝きました。おめでとうございます！

オープンスクール日程



敬愛中学校

敬愛中学校 10/11 日 敬愛模試・入試説明会

敬愛の先生が作成する模試問題（国語・算数）にチャレンジ！保護者対象の入試説明会、そして【特任講師】的場亮先生による特別講演会も同時開催いたします。

事前申込

9/26～10/3の期間に、ホームページ・お電話・申込み用紙のいずれかの方法にてお申し込み下さい。



敬愛高等学校

敬愛高等学校 11/3 火祝 敬愛模試・入試説明会

敬愛の先生が作成する5教科の模試問題にチャレンジ！合格判定参考資料（敬愛2コース）を含めた詳細な成績データシートを後日お届けいたします。

事前申込

北九州市・下関市・行橋市・京築地区の各中学校には後日、担任の先生にお申込み用紙をお届けします。上記以外の中学校の方は、お電話・ホームページにてお申し込み下さい。

昨年度
大好評

9/26 土 10:00～12:20

11/28 土 10:00～12:20

12/5 土 10:00～11:20

授業見学会・学校説明会

※お申込みは前日までに電話にて

★敬愛の学力アップの秘訣が分かる学校説明

★的場亮先生（元有名塾No1講師）による特別講演会「プラス30点の受験の秘訣!!」
※塾講師時代に生徒達を受験成功へ導いた秘訣を特別講演（9/26, 11/28の2日間開催）



慈恩特別企画



今年度、鎮西敬愛学園は創立90周年を迎えます。そこで、鎮西敬愛学園にご縁のある方々からのメッセージを募集したいと考えています。もちろん卒業生の方々も募集しています。創立90周年にちなんで、90人の方々からメッセージを募集します。応募方法は、FAX・E-mailなどから高尾宛まで、ご応募ください。卒業生のかたは、卒業年もご記入ください。多くの方々からのメッセージをお待ちしています。

FAX:093-391-8049

E-mail:info@keiai.net

下記のサンプルぐらいの文の長さ（150～200字程度）で、

- ①現在のお仕事などの学園との関わりなどについて
- ②お祝いメッセージ
- ③卒業生の方は卒業年（昭和〇〇年2月15日卒業 お名前（姓名）締め切り 9月30日

メッセージサンプル

鎮西女子高校時代の卒業生です。今は、孫と遊ぶのが毎日の楽しみです。敬愛が共学になって男子の生徒さんもいらっしゃることを聞いて、先日、びっくりしました。昔は、今の昇降口のところに購買部というのがあって、そこで、生徒たちがノートなどの文房具を販売していたんですよ。90周年おめでとうございます。私の孫も是非、敬愛で手をあわせる教育に触れて欲しいと思います。 昭和30年2月 卒業 〇〇 〇〇